

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	今までの職員研修を振り返ってみると、介護技術の取得と認知症を理解する学習に力を入れて来たつもりですが、今まで経験していないケースなどに適切に対応できない職員が見受けられます。	もう一度、認知症を理解するための法則を学びなおし、職員の力量アップをはかりたい。今、月1回の職員ミーティングをテキストにしている「知っておきたい認知症」を1年かけて学習する。	職員ミーティングの他に月1回の「学習会」を設け、テーマを決めて実行する。	12ヶ月
2	10	利用者の家族から意見や要望を聞く場として、訪問時の対応や、運営推進会議があるが十分といえない。家族の運営への意見・要望は重要と認識している。	個々の家族の事情を考慮して、2ヶ月に1回程度の「家族会」開催に心がけたい。	まず、家族に意見、要望、都合のアンケートを実施し、新年度から実施したい。	12ヶ月
3	40	職員の食事づくりには、力量、かかる時間等にバラツキがあり、又、職員の得手、不得手もあります。献立メニューにも、改善の余地があると思われる。	職員みんなで振り返り、食事内容、バランス、栄養等の充実にとり組み、改善したい。	今月作っている献立表の振り返り、検討を行い。充実につとめる。適宜に「料理教室」を開催する。	12ヶ月
4	45	利用者個々に応じた時間の入浴は確かに出来ないが、このたび職員会議で議題とし、利用者に再度聞き取りをしたところ、4人中、軽度の方1人が「夕方入浴にこしたことはないが、入浴時間はいつでもいい」ということだったが、今までの習慣は大切にしたいので、1人の要望でも答えて行きたい。	まず、利用者が希望する入浴時間帯に週2～3回程度実践してみたい。	勤務時間の変更なしで、日勤、遅番勤務者の夕方時の若干の業務変更や工夫で、夕方入浴は可能で有り、今後の職員会議等で検討し、実践を図りたい。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。